

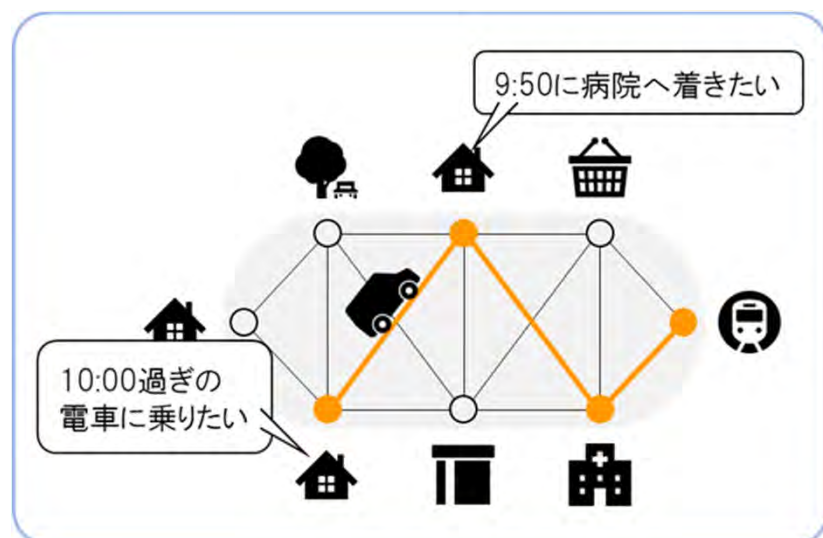
「ながなが号」（港南区永野・永谷地区） の実証運行の終了について

横浜市 都市整備局 都市交通課

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■これまでの経緯

- 「地域交通サポート事業※」を活用してきた地区の中には、移動ニーズの多様化などにより、**十分な需要が見込めない地区が増加**
- 小規模需要の地区における**新たな移動サービスを検討する必要性**
- 点在する需要における移動手段の確保や運行効率性を高めるには**デマンド型交通**が移動手段の一つとして有効
- これまで地域主体で検討を進めてきた港南区永野・永谷地区において、**令和4年度にデマンド型交通の実証実験を実施**
- 令和4年度実証実験の結果を踏まえ、令和5年度は、登りとなる上永谷駅からの帰宅支援に特化した**「帰宅支援型乗合タクシー」の実証実験を実施**



一般的なデマンド型交通の運行イメージ

※地域交通サポート事業とは

地域の主体的な取組によって移動手段の確保や持続可能な運行がスムーズに進むように、地域に対して様々な支援を行う事業

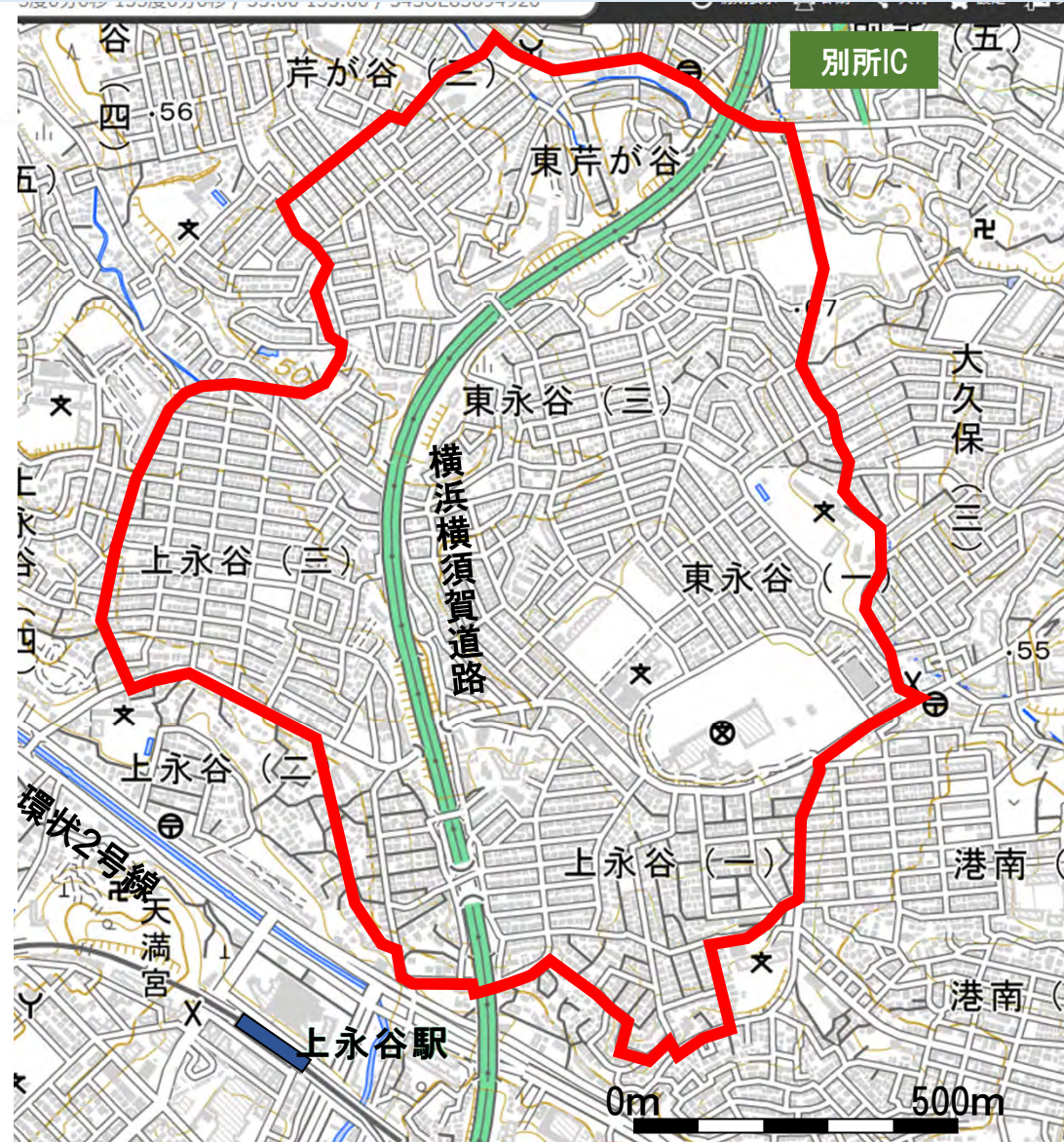


報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■位置図



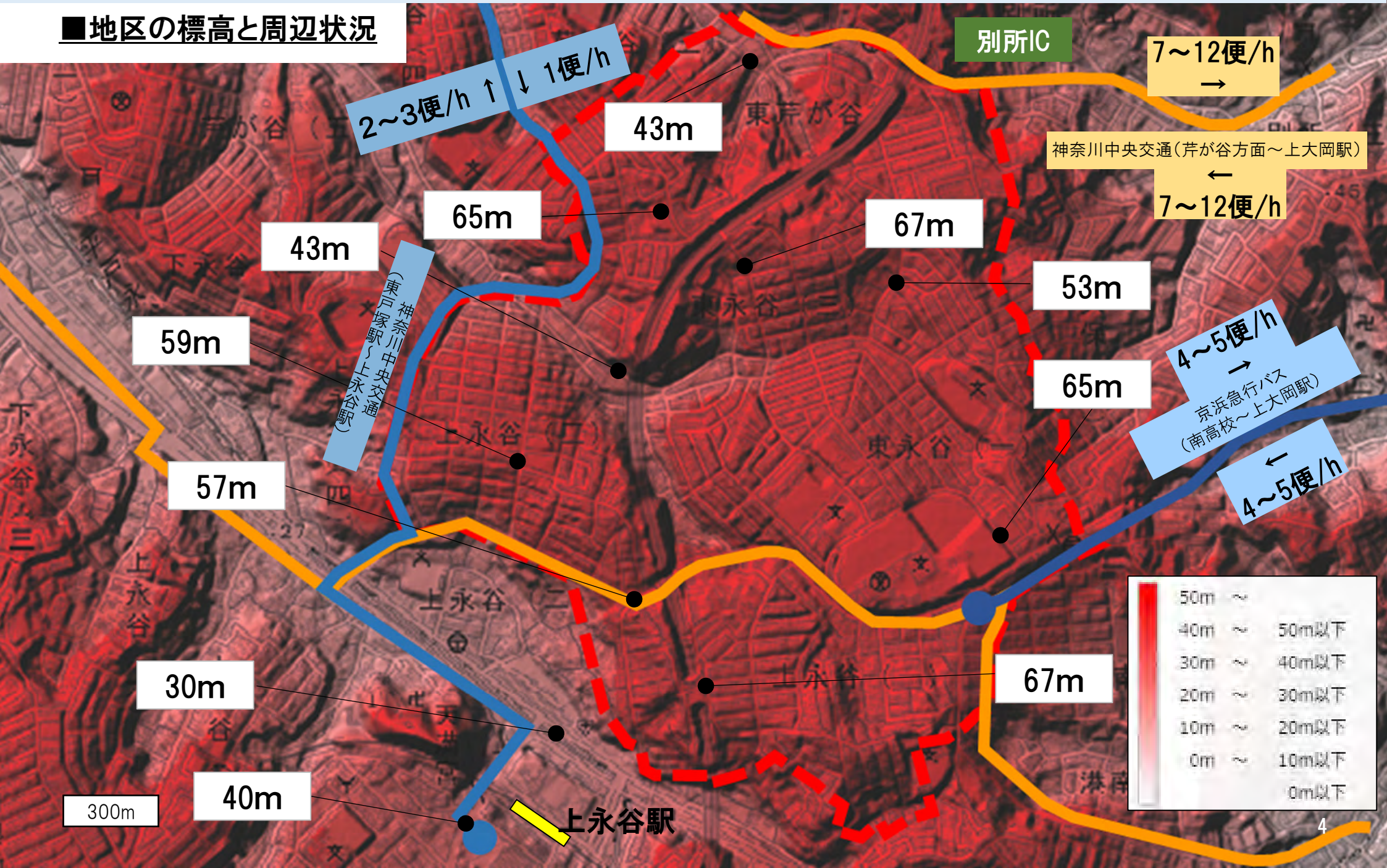
港南区永野・永谷地区の様子



- 人口 約15,000人、約5,000世帯
- 高齢化率 約29.3%
- 市営地下鉄ブルーライン上永谷駅北側に位置
- 戸建住宅中心の丘陵地

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■地区の標高と周辺状況



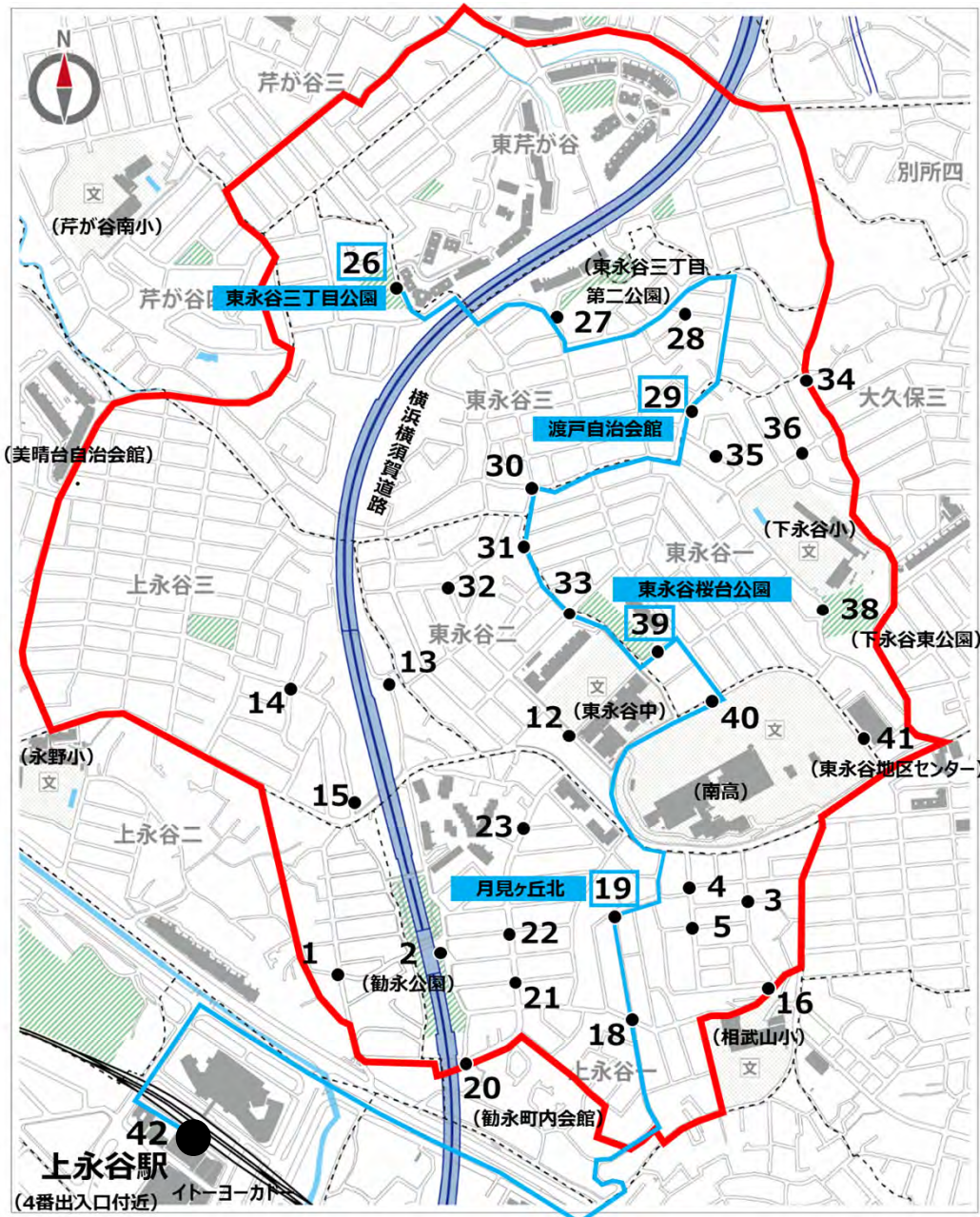
報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■令和5年度実証実験概要

項目	内容
運行事業者	湘南交通株式会社（港南区丸山台）
事業の許可	道路運送法第21条（乗合旅客運送） ①区域運行（上永谷駅発：10時台～16時台） ②路線定期運行（地区発：10時台）
運行期間	令和5年11月15日から令和6年5月31日まで（年末年始除く）
営業区域	港南区永野・永谷地区 （上永谷一、二、三丁目、東永谷一、二、三丁目、東芹が谷、芹が谷三丁目）
運行車両	セダン型車両：1両（乗客定員4人）予備車：2両※乗用事業と兼用
運行区間/ルート	①営業区域及び上永谷駅 ②起点（26番：東永谷三丁目公園）～終点（42番：上永谷駅）約3.4km
停留所	①乗車：1か所（上永谷駅） 降車：31か所（片道輸送） ②5か所（26番、29番、39番、19番、42番）
運行時間	平日・午前10時から午後4時30分（12時台は運休）※土休日及び年末年始は運休
運行回数	①上永谷駅10:30 以降毎時00分、30分発（利用者がいなければ当該便は運行しない） ②10時台：1便
運賃	一乗車 大人300円、小人150円（現金のみ）※未就学児は大人1人につき2人まで無料
車いす対応	車いすの折り畳みと介助者による介助によるご利用

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■運行区域及びルート・時刻表



【区域運行の利用方法】

- ・上永谷駅から住宅地への片道輸送
- ・決められた出発時刻までに上永谷駅の乗車場所に並ぶ(予約不要)
- ・乗車後、決められた降車場所を乗務員に伝える
- ・利用者が複数の場合、降車の順番は乗務員にゆだねる。

【時刻表(路線定期運行)】

停留所	1 便
26番：東永谷三丁目公園	10:00
29番：渡戸自治会館	10:05
39番：東永谷桜台公園	10:10
19番：月見ヶ丘北	10:15
42番：上永谷駅	10:20

※停留所は昨年度の実験で乗車が多かった場所を選定

【凡例】

- ：運行区域
- ：停留所(昨年度の番号を利用し、停留所を一部除いたため欠番あり)
- ：②路線定期運行において乗降可能

地域のご意見を聞きながら、運行計画を作成

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用促進の取組

1. 広報

- ・チラシの全戸配布(約5,000部)
- ・上永谷駅、周辺施設(イトーヨーカドー、東永谷地区センター)へのチラシ設置
- ・掲示板(4か所)へのチラシ設置
- ・「with港南(港南区子育て世帯向けLINEアカウント)」で情報発信



子育て世帯に向けた情報発信

2. イベント・企画

- ・無料乗車券を対象地域に配布(約4,000部)
1世帯につき2枚配布

使用可能期間: 令和6年2月1日～2月29日
利用者合計: 104人
1枚につき4人まで利用可



無料乗車券の例

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用実績

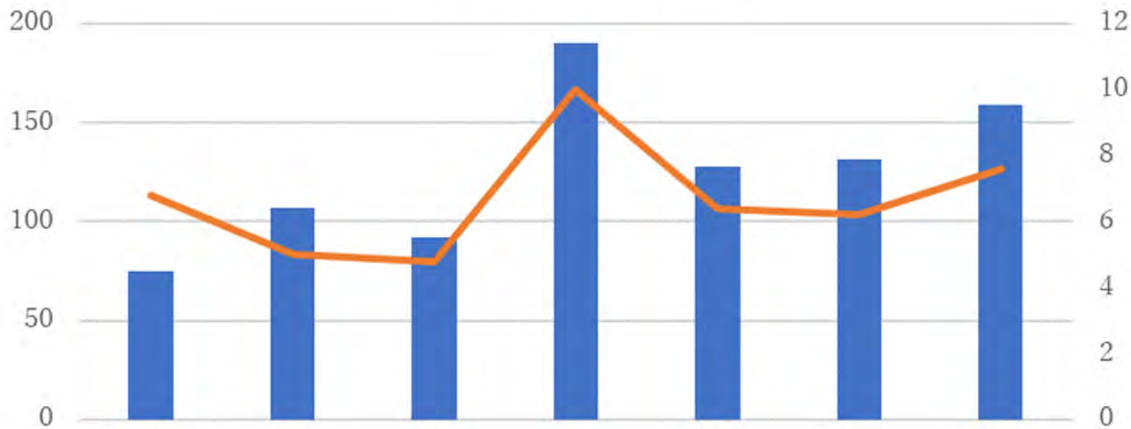
◎利用状況について

- ・総利用者数・・・882人
- ・平均乗車人数・・・6.7人/日

◎利用者属性

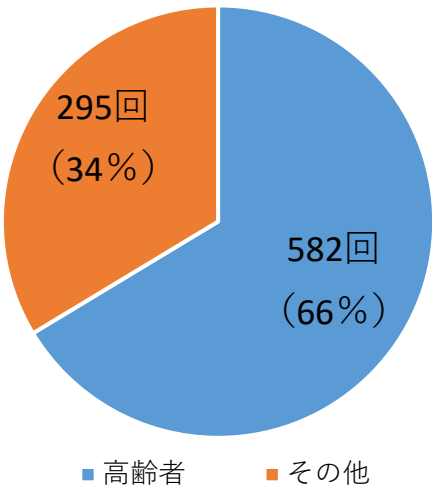
- ・高齢者の利用が6割以上
- ・「その他」の方の利用回数295回のうち、約3割は特定の親子連れによる利用

利用者数と日平均人数



	11月	12月	1月	2月 (無料乗車券)	3月	4月	5月
利用者数 (人)	75	107	92	190 (104)	128	131	159
日平均 (人)	6.8	5	4.8	10	6.4	6.2	7.6

年代別利用回数

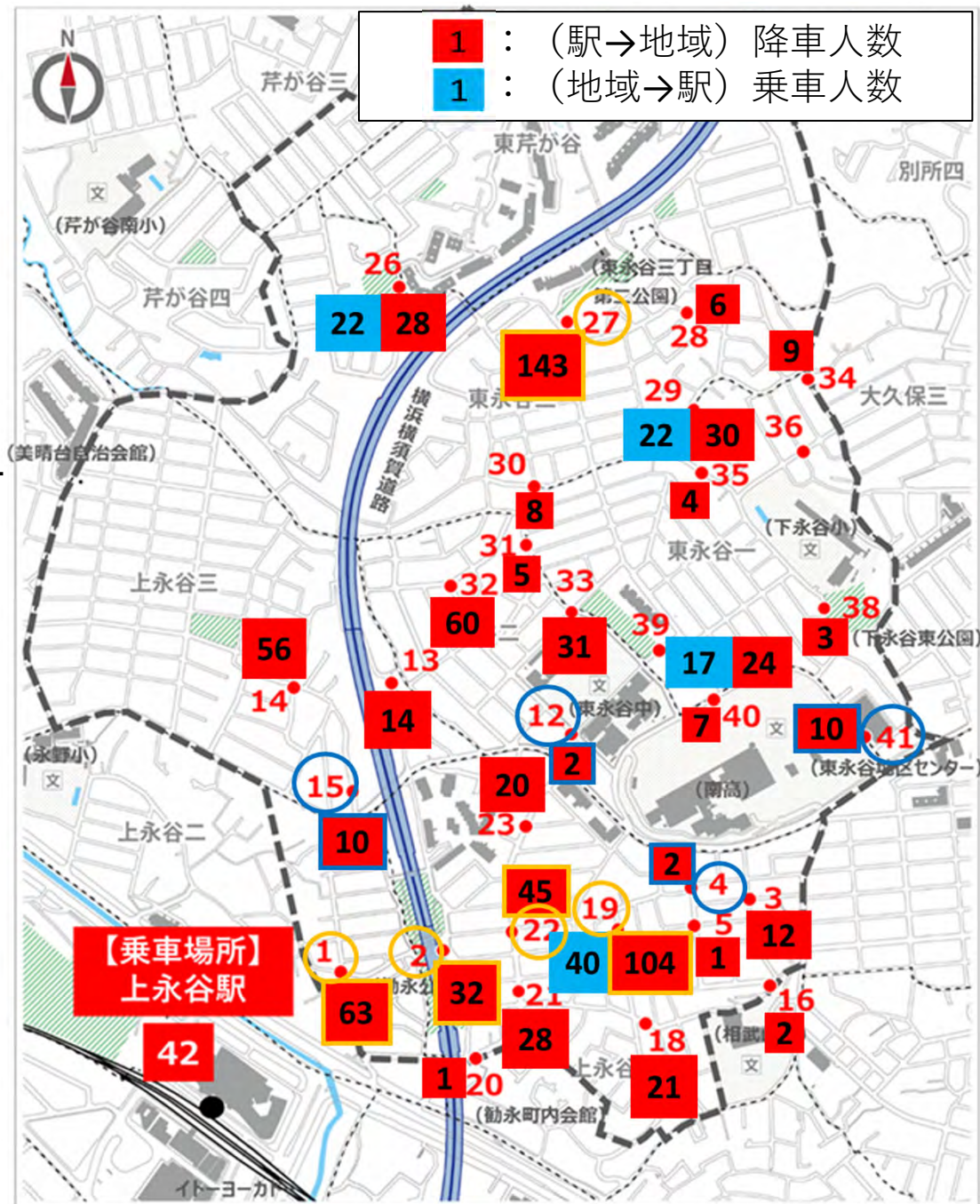


2月に無料乗車券を実施し期間中は一時的に利用者が伸びたものの、継続利用には繋がりませんでした。

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

◎乗降場所の利用状況

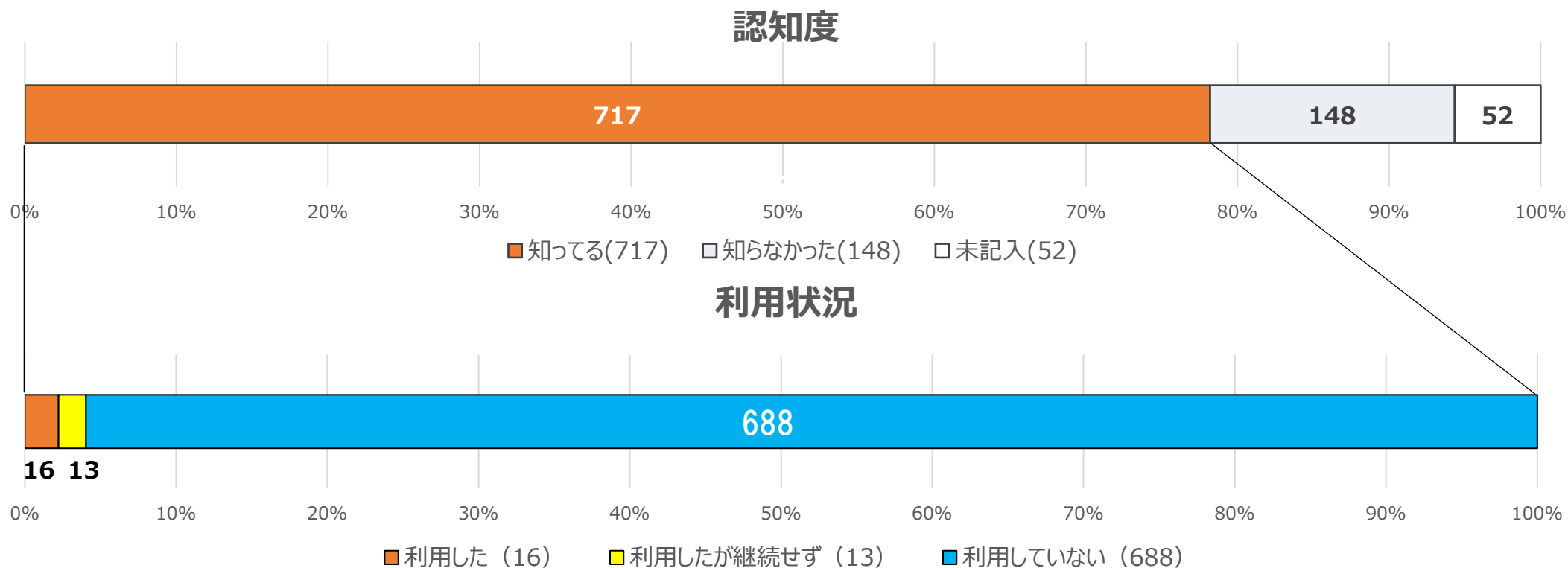
- ・駅発便では、駅から比較的近いエリアでも利用が多い
(1、2、19、22)
- ・子供連れで複数回利用された方がいたため、27の利用回数が多い
- ・既存のバス路線から近い停留所は比較利用が少ない
(4、12、15、41)



報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用低迷の原因分析

利用状況アンケート(令和6年2月実施)



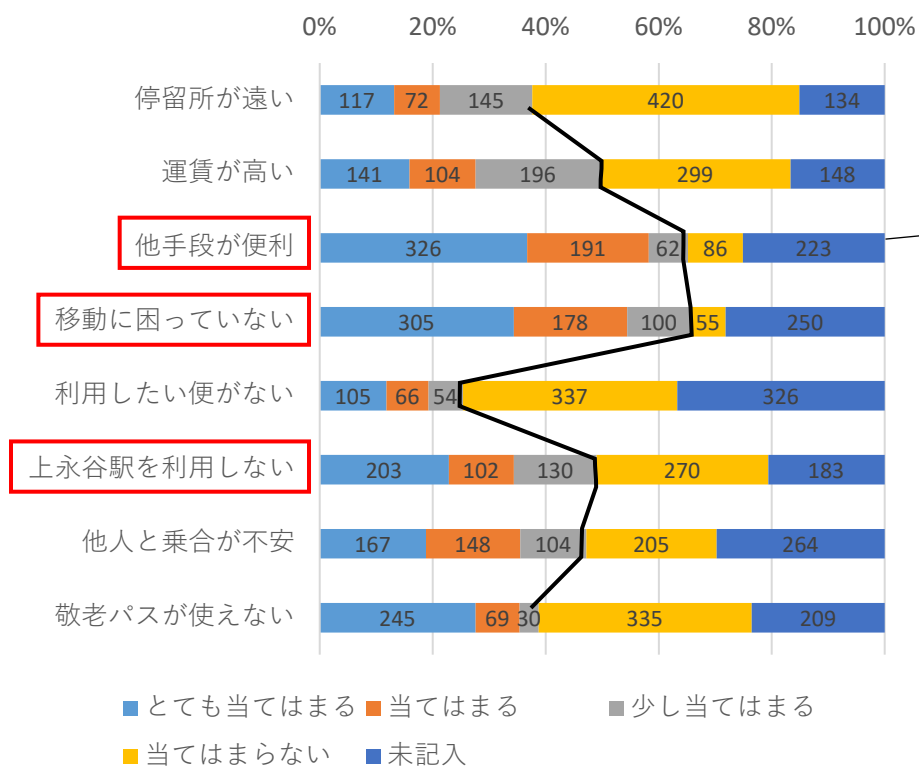
- ・ながなが号の運行については、回答者の約8割が「知っている」と答えており、認知度は利用低迷の原因ではないと考えられる。
- ・認知していた人のうち、利用したことのある人は約4%だった。

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

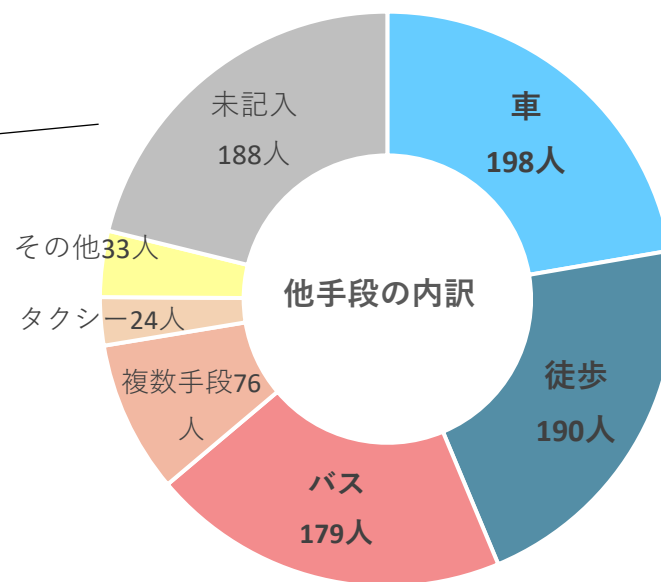
■利用低迷の原因分析

利用状況アンケート(令和6年2月実施)

未利用の理由 (全体傾向)



原因①：他手段が便利



- ・ 未利用者の60%以上が、使わなかった理由として「他手段が便利」、「移動に困っていない」を選択していた。
- ・ 他手段が便利と答えた方の手段は「車」、「徒歩」が最も多く、次いで「バス」となっている。

報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用低迷の原因分析

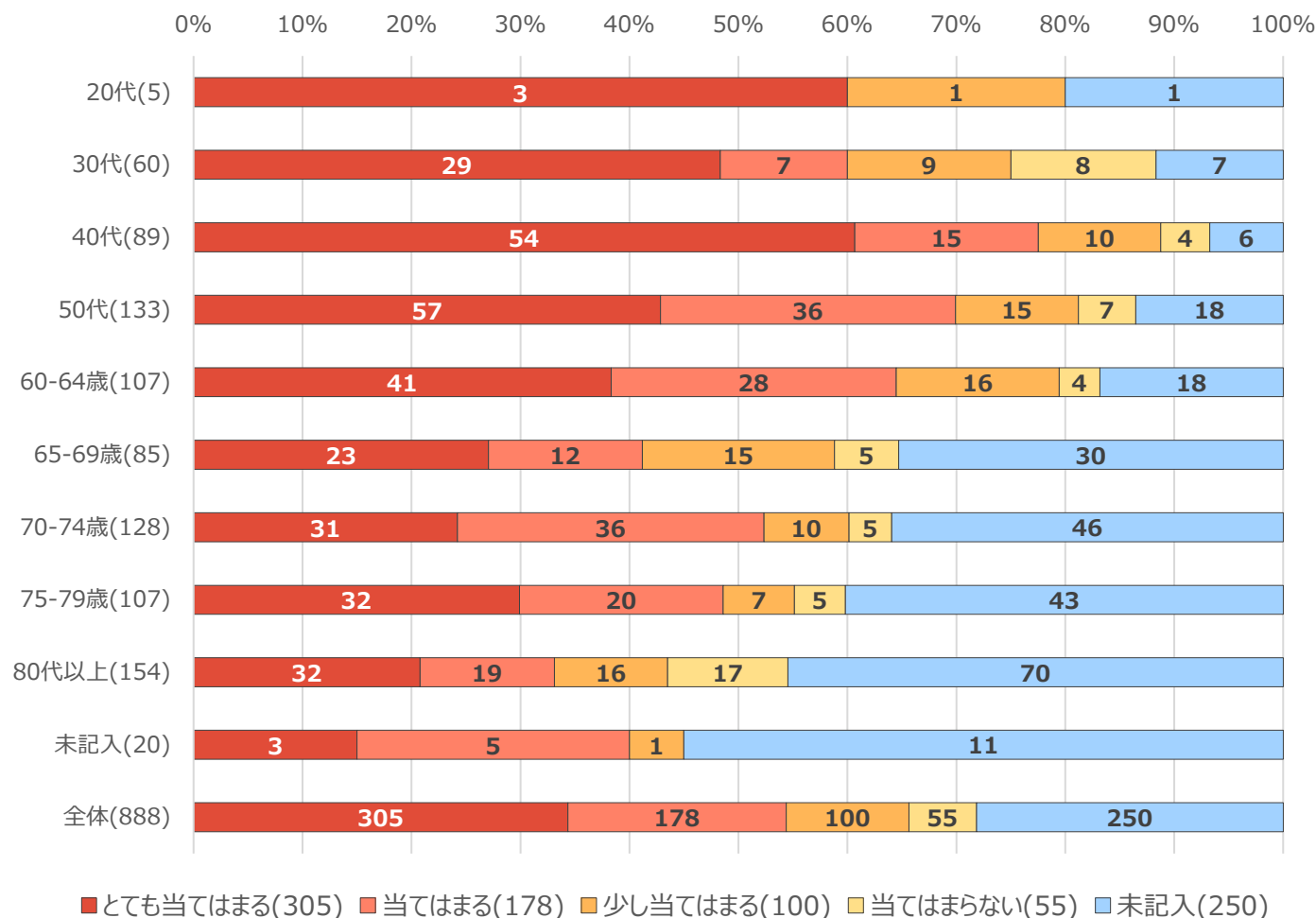
利用状況アンケート(令和6年2月実施)

原因②：移動に困っていない

・回答者全体の50%以上が「移動に困っていない（とても当てはまる・当てはまる）」と回答している。

・70代でも「移動に困っていない（とても当てはまる・当てはまる）」と回答した方が約50%を占めた。

未利用の理由：移動に困っていない（世代別）



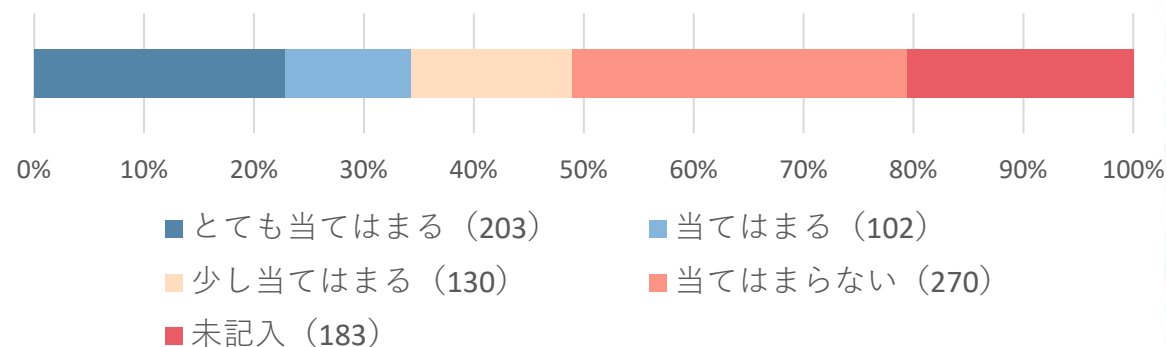
報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用低迷の原因分析

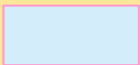
利用状況アンケート(令和6年2月実施)

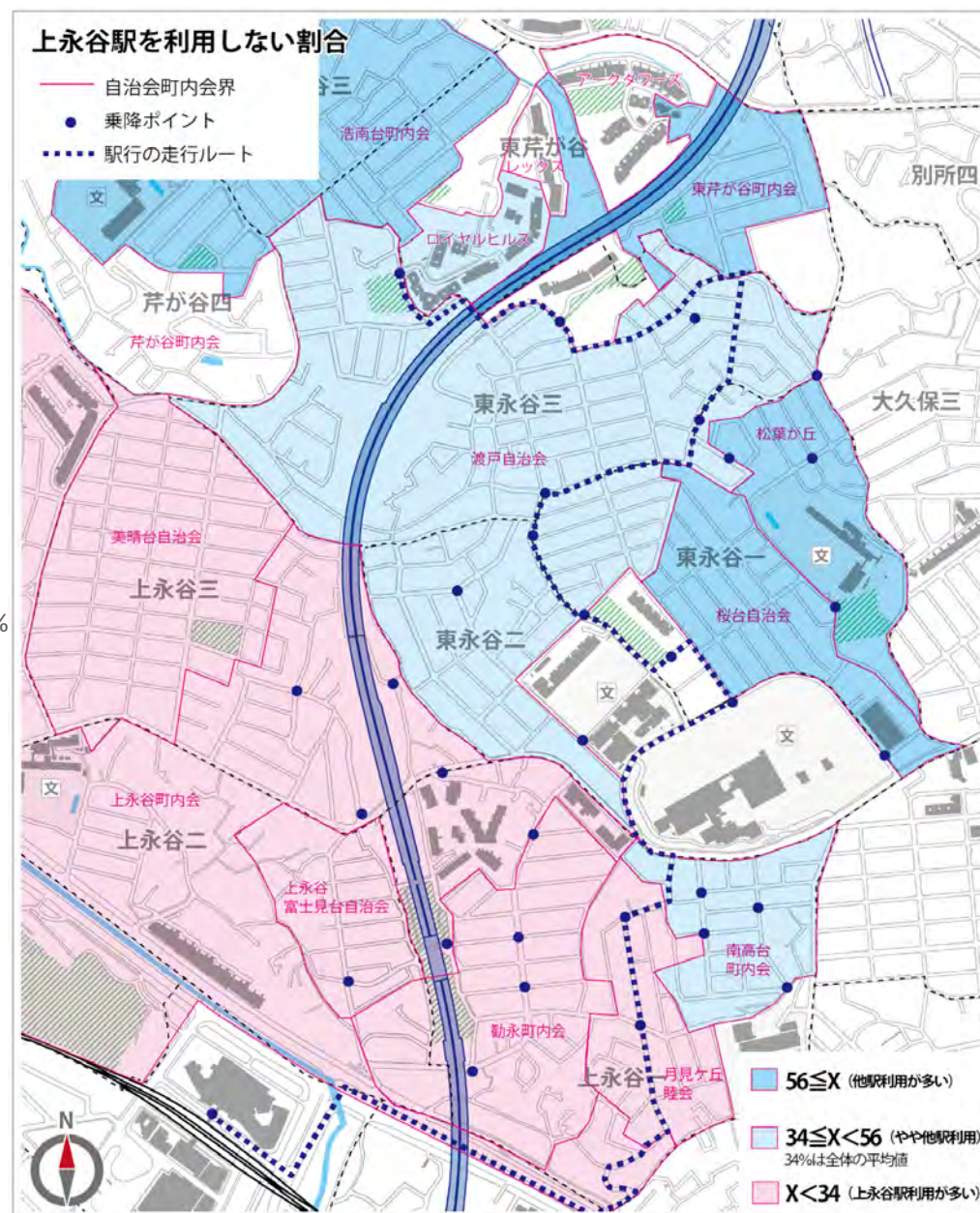
原因③：運行地区内で駅勢圏が別れている

未利用の理由：上永谷駅を利用しない（地区全体）



・未利用者のうち、上永谷駅を日常的に利用していない方は**48%**を占めた。

・   のエリアは特に、上永谷駅を利用していない方の割合が高い。



報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用低迷の原因についての考察

利用者数	6.7人/日
(目標人数	約30人/日)

→利用者数が目標人数に比べて大幅に少ない

→持続可能なサービスの提供が難しい

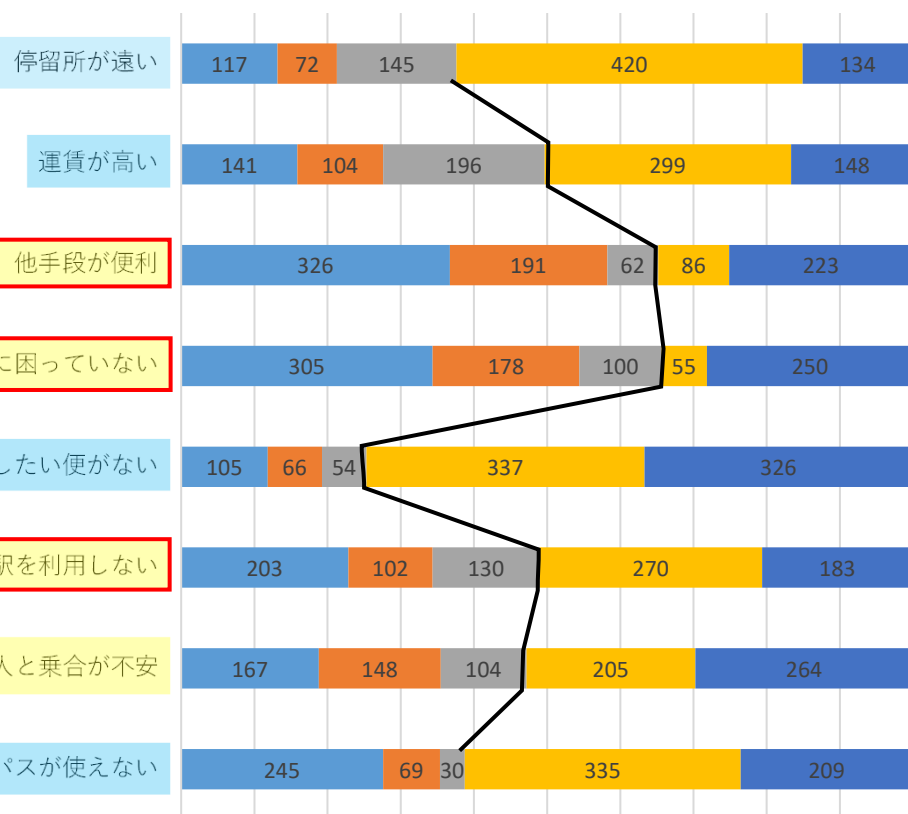
報告(1) 港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

■利用低迷の原因についての考察

- ・・・運行計画の変更で対応可能
- ・・・潜在的なニーズ

未利用の理由（全体傾向）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ とても当てはまる ■ 当てはまる ■ 少し当てはまる ■ 当てはまらない ■ 未記入

未利用の理由のうち、
運行計画の変更では対応が難しい
「他手段が便利（原因①）」
「移動に困っていない（原因②）」
「上永谷駅を利用しない（原因③）」
の割合が高いことを踏まえ、

永野・永谷地区において
上永谷駅への移動支援のニーズは小規模



運行計画を変更しても
乗車人数の大幅な増加は見込めず
持続可能なサービスの提供は困難であるため、
実証運行を終了する